

リレバン・レポート'13

～「なんとかなるさ」からの脱却～

調査概要

リレバンの効率的な推進方策の提示を目的として平成20年度から実施。今年度は、新たな切り口として、中小企業者の経営改善・事業再生に対する意識を調査し、それを軸とした分析を行うことにより、今後の課題を明確化できた。
県内に事業所を有する中小企業者向けアンケート 調査数:2,500 総回収数:1,699 有効サンプル数:1,571

メインバンク に対する 満足度

総合満足度66.8点(昨年度62.7点)
満足層…(大変・かなり・まあ)満足 (54.2%)
中間層…普通 (37.2%)
不満足層…(やや・かなり・大変)不満(8.7%)

個別項目満足度として、融資や経営支援等に関連した14項目を調査
→融資に関連する項目の点数が昨年度より上昇(但し不満足層では低い)
→経営支援に関連する項目※の点数が低い(特に満足層で相対的に低い)
(※「販路開拓の支援」「新商品開発・技術研究開発支援」など)

資金調達の 現状

過去1年間の**謝絶経験割合6.9%**(昨年度13.4%)
・昨年度より大幅に低下(中小企業金融円滑化法終了後も金融機関による融資等への前向きに対応がうかがわれる)
・金融機関による謝絶理由の説明に対して、「**納得しなかった**」52.8%
・金融機関による謝絶時のフォローとして、「**アドバイス・提案はなかった**」56.6%

経営改善 への意識

・**経営改善・事業再生の必要性を「感じる」37.9%**(主な理由…売上減少56.7%、資金繰りが窮屈22.0%)
→うち、経営改善計画(事業再生計画)作成の必要性を「感じる」62.1%
・**経営改善・事業再生支援機関を「知らない」65.1%**。当該支援機関を知っていて「活用したいと思う」48.4%

経営状況把握 の取組

	試算表	資金繰り表	事業計画	決算書
作成状況	69.0% (毎月作成46.8%)	29.9%	17.8%	—
金融機関への自発的な提出状況	8.1%	9.2%	10.8%	14.9%

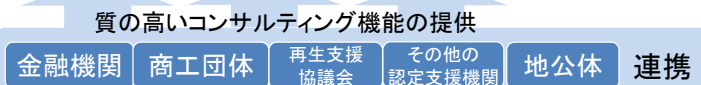
・試算表・資金繰り表・事業計画を**全て作成している14.0%**、**全て作成してない29.3%**
→不作成の理由「作成の必要性を感じないから」試算表57.3%、資金繰り表64.3%、事業計画62.4%
・「業績が良好な企業」、「経営改善の必要性を感じる企業」は、試算表等の作成及び金融機関への提出の割合が高い
・決算書等を自発的に提出した場合の金融機関の前向きな対応69.6%の一方で、後ろ向きの対応20.9%

今後の課題 (目指すべき姿)

「なんとかなるさ」からの脱却への **第一歩** = **自社の経営状況の把握**



3区分に注目	直近の業績	経営改善 の必要性	作成している割合		
			試算表(毎月)	資金繰り表	事業計画
「常に前進」型	上向き	感じる	67.4%	55.4%	43.5%
全体(平均)	—	—	46.8%	29.9%	17.8%
「なんとかなるさ」型	下向き	感じない	29.2%	11.8%	3.5%
「どうすりゃいいの？」型	下向き	わからない	27.2%	5.8%	2.9%



経営状況把握が不十分!